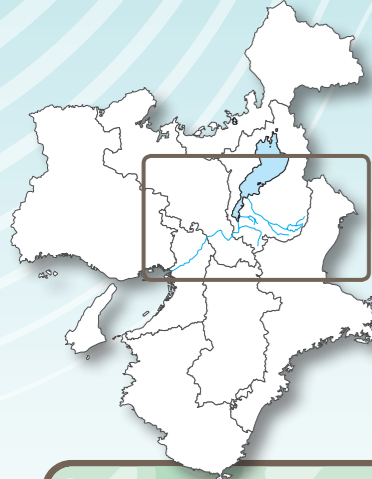


瀬田川・野洲川・草津川

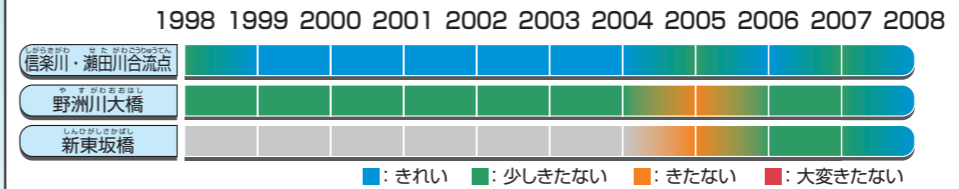


瀬田川は、琵琶湖から流れ出る唯一の川で、京都府に入ると「宇治川」と呼ばれ、さらに下流になると「淀川」と名前を変えます。洗堰など、古くからさまざまな治水・利水事業が行われてきました。

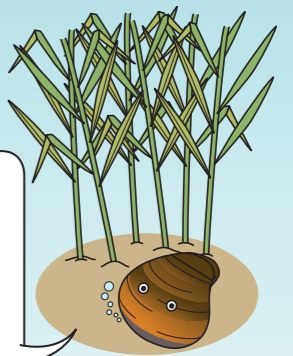
野洲川は琵琶湖にそそぐ最も大きな川です。魚などの生息場所となる瀬・淵や礫河原、ヨシがしげった場所など、良好な河川環境を再生するための整備を進めています。

草津川は、国道や鉄道が川の下を流れる、全国でも珍しい天井川（川底が周りの地面よりも高い川）でしたが、水害の被害を軽減するため、平成14年に新草津川へと切り替えを行いました。

瀬田川・野洲川・草津川の水質の変化(過去10年間)



今年は3河川とも「きれいな水」だ！やったね！
野洲川(野洲川大橋)と草津川(新東坂橋)では過去10年間で初めてだよ！



セタジミ

もともとは琵琶湖淀川水系にしか生息していないジミです。近年、数が減りつつあるため、琵琶湖沿岸で生息環境保全につながる取り組みが進められています。

信楽川・瀬田川合流点

平成20年8月1日 / 参加人数：15人
(大津市立南郷中学校、NPO法人瀬田川リハビリ隊)

- ナガレトビケラ×2点
- ヒラタカゲロウ×2点
- ウズムシ×1点
- サワガニ×1点
- きれい………6点

- コオニヤンマ×1点
- スジエビ×1点
- 少しきたない…2点



ヒラタカゲロウ

野洲川大橋

平成20年7月24日 / 参加人数：10人 (栗東市立葉山中学校)

- ナガレトビケラ×2点
- ヒラタカゲロウ×2点
- きれい………4点

- ヒラタドROMシ×2点
- コオニヤンマ×1点
- スジエビ×1点
- 少しきたない…4点



ナガレトビケラ

新東坂橋

平成20年7月22日 / 参加人数：5人 (栗東市立栗東中学校)

- ナガレトビケラ×1点
- ヒラタカゲロウ×2点
- ブユ×1点
- サワガニ×2点
- きれい………6点

- コガタシマトビケラ×1点
- カワニナ×2点
- スジエビ×1点
- 少しきたない…4点

- タイコウチ×1点
- きたない………1点

- アメリカザリガニ×1点
- 大変きたない…1点



サワガニ



きれい 少しきたない きたない 大変きたない